

平成 27 年度小牧市農政推進協議会 会議録

日 時 平成 28 年 2 月 8 日 (月)

午後 1 時 00 分

場 所 J A 尾張中央本店 3 階 大会議室

○出席者

【委員】

安藤委員 (会 長) 永井委員 倉知委員 川橋委員 加藤委員
吉田委員 (友松委員の代理)

【事務局】

J A 尾張中央 長谷川 山田 森藤 中山 伊藤
小牧市役所 農政課 丹羽 澤田
愛知県農業振興基金 都築

○欠席者

【委員】

神戸委員 (副会長) 吉田委員

- 配布資料
- ・小牧市農政推進協議会次第
 - ・議題
 - ・小牧市農政推進協議会設置要綱
 - ・小牧の農業
 - ・農地中間管理事業に関する資料
 - ・新規就農公演会チラシ
 - ・第 2 次小牧市食育推進計画 (P R 版)
 - ・米政策のあらまわし
 - ・営農計画書記入例
 - ・委員名簿

○傍聴者 なし

○会議内容

【事務局】	小牧市農政推進協議会設置要綱第 4 条 1 項で会長が議長となっておりますので、会議のとりまわしを会長にお願いします。
【議 長】	議題 (1) 平成 27 年度事業報告について、事務局より説明を求めます。
【事務局】	議題 (1) について説明。 ①米生産調整推進対策事業 平成 27 年度米の生産調整数量目標・・・1, 616 t " 使用単収・・・507 kg / 10 a " 作付目標面積・・・319 ha 平成 27 年度産米の生産数量・・・2, 198 t

〃 水稻作付面積・・・・・・ 433ha

平成27年度経営所得安定対策等加入状況

配分対象農家者数・・・・・・2,110人

経営所得安定対策等加入者数・・・・・・ 28人

②農業経営基盤強化促進対策事業

人・農地プラン検討会

開催日 平成28年2月23日(予定) 委員数12人

農業近代化資金利子補給補助金 対象者6件

農業経営基盤強化資金利子補給補助金 対象者1件

新規就農・経営継承総合支援事業補助金 対象者1件

新規就農講演会(地元野菜のブランド化 その栽培における楽しみ!)

開催日 平成28年2月12日(予定)

会場 JA尾張中央本店3階大会議室

講師 ながい ちはる(シニア野菜ソムリエ兼管理栄養士)

③鳥獣等関係対策事務

鳥獣講演会(演題:外来種としてのアライグマについて考える)

開催日 平成27年9月12日

会場 小牧市役所東庁舎5階大会議室

講師 浅野 玄(まこと)

ハチ処理状況 158件

(内訳) ミツバチ分ぼう5件、スズメバチ149件、オオスズバチ4件

④農業団体等支援事業

小牧市農業祭(『いきいきこまき』として4イベント合同開催)

開催日 平成27年11月14、15日

会場 小牧市市民会館駐車場

来場者数 11月14日 約15,000人、15日約20,000人

品評会開催 3回(7月14日、8月24日、11月13日)

出品数 601品(穀類、野菜、果実、切り花等)

⑤市民菜園事業

163区画(平成28年2月1日現在利用数143区画)

⑥農業農村多面的機能支払事業(事業期間24年~28年度)

対象地域(大草、野口、大山、林地区)

おおくさ水土里の会:田85ha、畑9ha

野口水土里の会:田37ha、畑5ha

大山水土里の会:田14ha、畑3ha

みどりネット林:田18ha、畑2ha

	<p>⑦（仮称）農業公園管理事業 利活用検討プロジェクト委員会（委員数11人） 開催日 2回（6月8日、7月16日） 先進地視察 11月17日、視察地 碧南市あおいパーク</p> <p>⑧食育推進事業 第2次小牧市食育推進計画（実施期間：平成24年度～28年度） 食育講演会（演題：楽しく食べて、健康に！） 開催日 平成27年12月19日 会場 あさひホール 講師 妻谷 勝弘（キューピー株） 第16回食育推進チーム会議 出席委員数16人 開催日 平成27年8月6日 会場 市役所本庁舎4階402-1会議室 第17回食育推進チーム会議 開催日 平成28年2月25日（予定）</p> <p>⑨農業体験事業 農業体験講座 会場：JA尾張中央東部営農生活センター 【通常講座】春夏コース4月～8月 15回開催 秋冬コース9月～2月 15回開催（予定） 【土曜講座】かんたん春夏野菜栽培講座 開催日 平成27年4月18日 会場 市役所東庁舎5階大会議室 かんたん秋冬野菜栽培講座 開催日 平成27年8月22日 会場 市役所本庁舎6階601会議室</p> <p>⑩遊休農地活用事業 池之内市民菜園事業 46区画（平成28年2月1日現在利用数42区画）</p>
【議長】	議題（1）について、委員へ発言を求めます。
【委員】	近年小牧でも増加しているジャンボタニシについて、市としての対策はどうなっていますか。また、農家がジャンボタニシの駆除を行うときに、助成の制度はありますか。
【事務局】	対策としては、シルバー人材センターにジャンボタニシの卵落とし業務を委託しており、今後も継続的に重点地区を定めて行います。 農家等への助成制度はありません。
【委員】	イノシシの対策はどのようになっていますか。
【事務局】	猟友会と連携して駆除を実施しており、また、大山地区に3箇所檻を設置して駆除に取り組んでいます。

【議 長】	議題（１）について、承認してよろしいでしょうか。
【全委員】	異議無し 議題（１）は承認された。
【議 長】	議題（２）平成２８年度事業計画（案）について、事務局より説明を求めます。
【事務局】	<p>議題（２）について説明</p> <p>①米生産調整推進対策事業</p> <p>平成２８年度米の生産調整数量目標・・・１，５５０ｔ</p> <p> " 使用単収・・・・・・・・ ５０６ｋｇ／１０ａ</p> <p> " 作付目標面積・・・・・・・・ ３０７ｈａ・・・①</p> <p>米の生産調整数量自主的取組参考値・・・１，５３３ｔ</p> <p> " 作付目標面積・・・・・・・・ ３０３ｈａ</p> <p>小牧市内対象水田面積・・・・・・・・ ４８６ｈａ・・・②</p> <p>配分率（①÷②）・・・・・・・・ ６３．１％</p> <p>米政策のあらまし（ＪＡ支部長会にて資料配布予定）・・・別添</p> <p>②農業団体等支援事業</p> <p>小牧市農業祭（『いきいきこまき』として４イベント合同開催）</p> <p> 開催日 平成２８年１１月１９、２０日</p> <p> 会 場 小牧市市民会館駐車場</p> <p>③鳥獣等関係対策事業</p> <p> 【新規事業】</p> <p> スズメバチ等営巣駆除補助制度</p> <p> （目的）最近のスズメバチの巣駆除件数の増加とあわせ、市内の会社、マンションなどからの駆除依頼も多いことから、広く市民に駆除の助成ができるよう新たに補助制度を設けスズメバチ等巣の駆除処理料に対して一定の補助を行うものであります。</p> <p> （実施）平成２８年４月１日から</p> <p> （依頼件数）１５０件程度</p> <p> （周知方法）市広報、市ホームページへ掲載予定</p> <p>④食育推進事業</p> <p> 第２次小牧市食育推進計画評価及び第３次小牧市食育推進計画策定支援</p>
【議 長】	議題（２）について、委員へ発言を求めます。
【委 員】	特になし。
【議 長】	議題（１）について、承認してよろしいでしょうか。
【委 員】	異議無し 議題（２）は承認されました。

【議 長】	その他、事務局から連絡等がございますか。
【事務局】	<p>農地中間管理事業について説明します。</p> <p>平成26年に農地中間管理事業が始まり、国としては10年後に農地の8割を担い手に集積する目標を掲げています。</p> <p>愛知県内の平成26年度の実績は64.6haで、平成27年度は今現在約500haとなっていますが、年間目標1,000haにはまだ及んでいません。課題としては、制度の周知が進んでいないことがあるので、新聞に広告を出して制度の周知を図ります。よければ、市の広報にも掲載を依頼したいと考えております。</p> <p>農地中間管理事業による農地集積の事例として、福井県のとある集落では、集積率が40.2%で分散錯誤の状態であったのを、農地中間管理事業により82.7%に上げた事例があり、農地集積により生産費を削減するという点でご協力いただきたいと思っております。</p> <p>農地中間管理事業と農地利用集積円滑化事業の違いとして、貸付期間が農地中間管理事業の方が長く、概ね10年となっております。10年と長いのは、担い手が長く農地を利用できるように配慮したものであります。また、これまでは農地中間管理事業の権利設定までに6ヶ月かかったのを、3ヶ月に短縮しました。基盤整備については、補助制度はあるものの、担い手の方に負担いただくことになり、県内ではまだ補助制度の活用実績がありません。</p> <p>事業のポイントとして、農地として利用することが著しく低い農地は借り受けにくいことや、貸付先のルールに従い貸付を行うこと、10年間担い手に農地を貸し付けることがあります。</p> <p>農地集積について農地中間管理事業と農地利用集積円滑化事業の2つの制度がありますが、使いやすいものを利用していただき、8割の農地を担い手に集積するという目標が達成できるようにご協力いただきたいと思っております。以上です。</p>
【議 長】	すべての議題が終了したので、小牧市農政推進協議会の議長の座を降ろさせていただきます。ありがとうございました。
小牧市農政推進協議会 閉会	